

**経営学は実際の生活や仕事にとっても役に立つ勉強**

—宇都宮大学大学院工学研究科で考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 私は、宇都宮市のベルモールというショッピングセンターの横にある宇都宮大学大学院工学研究科で客員教授を仰せつかっております。先週の5月13日(金)に、宇都宮大学大学院の博士課程前期、つまり修士課程の大学院生の皆さん約70名の方に90分の授業を2回させていただきました。今日は、そのお話を少しさせていただきます。
3. 今は、多くの皆さんが高等学校が終わった後に大学に行かれますが、理科系の大学の場合、つまり工学部や理学部の場合には半分以上の方が大学院に進学するところがたくさんあります。宇都宮大学も同じで、工学部では半分以上の方が大学院に進学して、博士課程というところに行きます。博士課程は二つに分かれていて、博士課程前期が2年間、博士課程後期が3年間です。昔の修士課程を博士課程前期と言い、私はその博士課程前期、以前の修士課程の大学院生にお話をさせていただきました。授業の科目は、経営情報工学特論です。ベルモールの近くにある宇都宮大学の工学部のキャンパスの正門を入ると、真正面に大きな新しい建物があります。その一番新しい建物の1階の一番大きなホールを「アカデミアホール」と言いますが、そこで授業をさせていただきました。非常に素晴らしい設備で、快適な授業でした。
4. 今回の私の授業は、大学院の博士課程前期の院生さんもいつかは何らかの仕事をすることになるので経営についての勉強をしたほうがよいのではないかという考えのもとに、「経営学の学習を始めよう」というテーマで行いました。経営的なものの考え方を理解して、少しずつそれらを身に付け、定着させて、これからの研究や生活、仕事、社会的な活動に役立てて応用することを授業の目的としました。
5. このように、すべての授業には必ず目的があります。授業をする人は、その日の授業にはどのような目的があるのか、その日の授業のゴール(到達点)を授業の最初に明らかにすべきではないかと私は考えます。私もその日は、経営的なものの考え方を理解してもらいたいという目的をもってお話をしました。

6. では、経営とは何かということです。この放送をお聴きの皆さんは社会人の方が多く、お仕事をなさっている方が多いので、経営についていろいろなことを考えている方がたくさんいらっしゃると思います。私は、経営とは「営みを経て目的や目標に達する」ことをいうと考えます。「経営」の「経」というのは「経る」という字です。「営」は「営み」という字ですよね。「営みを経る」、このことばは仏教用語だそうです。「営みを経て目的という到達点(ゴール)に達すること」、これが経営です。ただ、目的(地)に到達する手前には経なければならないいろいろなマイルストーン(一里塚)、経過点があります。私はそれを「目標」という表現を用い、「目的」とは言葉遣いを少し変えています。営みを経て到達点(ゴール)に達する、その手前でいろいろな一里塚・途中の経過点を一個一個丁寧に丁寧に通過する、これが経営ではないかと私は考えます。つまり、A という目的地(ゴール)に達するために 1, 2, 3, 4 という通過点(マイルストーン)を 1 つずつクリアしていく営みが経営だと考えます。

7. では、目的とは何でしょうか。私は、企業であれば、企業の社会的使命・存在意義が目的であると考えます。行政にも経営があります。行政は行政で、学校は学校で、病院は病院で、介護施設は介護施設で、お店はお店でというように、一つ一つの企業、組織体には社会的使命・存在意義があります。その目的を達成するために経営があると私は考えます。

8. 経営学とは何かというと、経営について学ぶことで、経営についての学問だと私は考えます。どんなテーマがあるかということ、まずは、これからこの会社をどうするかという「戦略」です。そのあとは、どのような組織でこの会社をやっていくか・この病院をやっていくか・この学校をやっていくか・この介護施設をやっていくか・この店をやっていくかということです。つまり、戦略の次は「組織」が大事なテーマになります。

9. また、組織には必ず「リーダー」が必要です。企業全体の経営責任者である社長や理事長、職場の長、工場長、支店長といったリーダーが組織には必ず必要です。組織全体や各々の職場の経営責任者が発揮すべき「リーダーシップ」とは何かという難しい問題もあります。例えば、学校は校長先生次第ですべてが決まります。すべてが決まるといっては言い過ぎかもしれませんが、学校の大きな方針を出すのは校長先生ですので、校長先生がしっかりとした方針を出せばその学校はしっかりとした方向に向かいます。病院の院長先生がしっかりとした方針を出せばその病院はしっかりとした方向に向かいます。介護施設も同じで、理事長さんや施設長さんがしっかりとした方針を出せばしっかりとした介護施設ができます。ガソリンスタンドもそうですよね。社長さんや店長さんがしっかりとした方針を出せばすばらしいガソリンスタンドになります。これはすべての仕事、組織に言えることです。行政でも知事さんや市長さん、町長さんがしっかりとした方針を出せば、しっかりとした県や市町、地域ができます。このように、経営にはリーダーシップとは何かというとても大事なテーマがあります。

10. 更に、人材とは何かという難しい問題がありますね。そこで働く人たちをどのように育てることができるのかもとても大事です。それから、ものをどのような形で販売したらよいのかというマーケティングも大事です。また、いろいろな情報がたくさん集まりますが、耳に痛い情報はどのようなものかという問題、上手くやっている方がそれをなかなか表面に出せないで隠れていること、暗黙知をどのように活かしてみんなで共有化して上手くやっていくかという問題、その会社・組織でどのような企業文化を作ったらよいかという問題もあります。そのほかにも、財務、会計、税務、危機管理などいろいろなテーマがあります。これらを勉強するのが経営ではないかと思ひまして、宇都宮大学の大学院生の皆さんと経営とは何か・これからどのようなことを勉強したらよいのかについて考えました。

11. 私も仕事を始めてから経営学を勉強し始めたのですが、経営学というのは非常に面白く、本当に身に染みると言いますか、一つ一つの内容が本当にありがたい学問ですので、放送をお聴きの皆さんもぜひ経営学を少しずつでも勉強していただければと思います。

12. 5月13日に宇都宮大学大学院工学研究科で客員教授として90分の授業を2回させていただきましたので、今日はそのお話を少しさせていただきました。

— 2013年9月6日(金)加筆・訂正、林明夫 —